

# 日本森林学会におけるダイバーシティ推進Workshop2019開催報告

2019 workshop report of diversity promotion at the Japanese Forest Society in annual congress

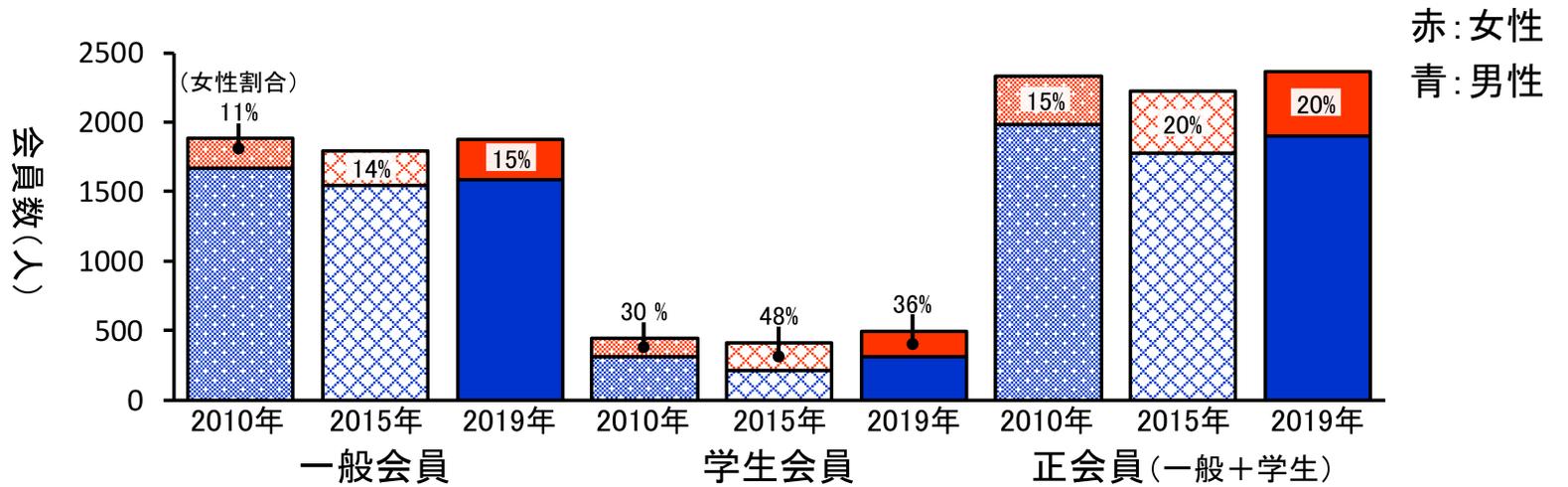
日本森林学会 The Japanese Forest Society



第131回日本森林学会大会(2019年3月22日)でワークショップを開催し、参加者が日頃抱えている不安や悩み、要望等を共有しました。参加者は、関心を持っているテーマ

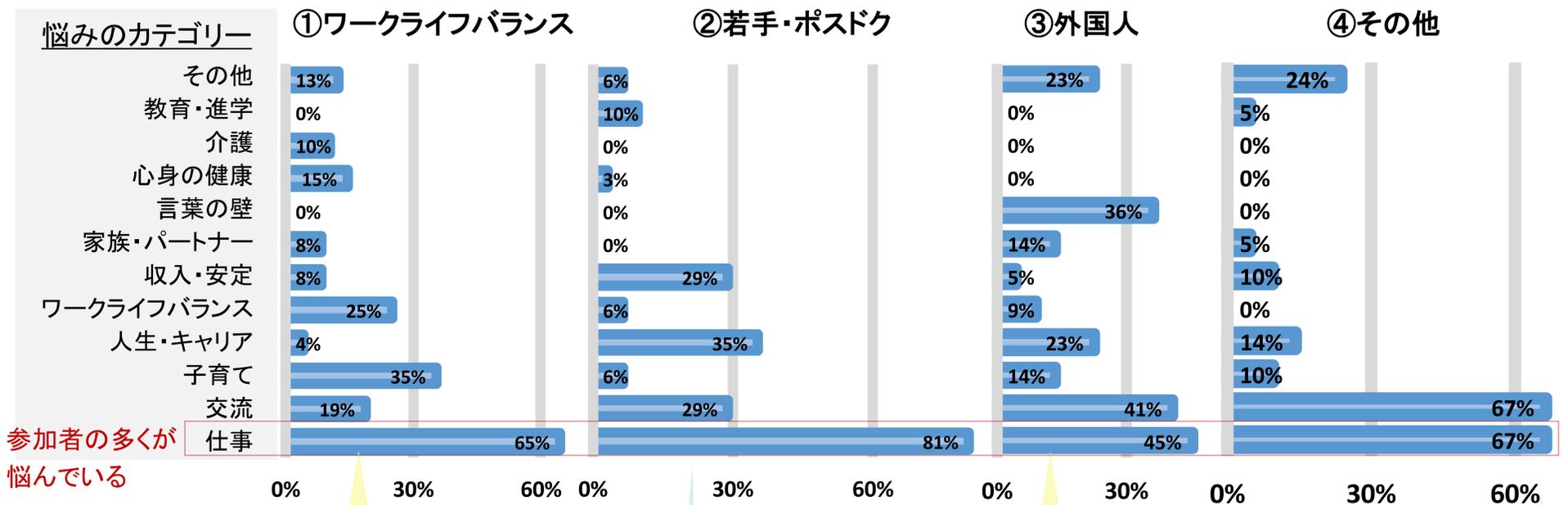
①ワークライフバランス、②若手・ポストドク問題、③外国人、④その他に分かれ、自由に意見を述べあいました。

## 日本森林学会 会員基礎データ



## ワークショップで明らかになった参加者の声

参加者: 一般会員・学生会員含めて42名(女性20名、男性22名)



### ①ワークライフバランス

- 業務量や会議の多さ、残業時間により研究と私生活のバランスを取ることが難しい。
- 仕事と家庭でいっぱいいっぱい、どこを削ればよいか分からない。
- 勤務地と実家(介護)が遠く、不安。

### ②若手・ポストドク

- 将来設計が立てにくい。
- ポストドク時に育休制度を利用しづらい。
- ワークライフバランスが悪い。

### 実際の声

### ③外国人

- 言葉の壁により、就職先を見つけることが難しい。
- 子供が小さい期間の海外出張が難しい。
- どのように友人を作ったら良いか分からない。

### ④その他

- セクハラ発言に困る。
- 国際交流、研究者同士の交流、研究者と技術者との交流が必要。
- コミュニケーションを取ることが難しい人への対応が分からない。

## まとめ

テーマに関係なく、参加者の多くは仕事(量・異動・出張・就職)に関する問題に悩んでいるなど、会員がいま抱えている多様な課題が明らかになりました。

次回の学会では、これらの声を会員全体で共有し、本学会の進むべきダイバーシティ推進の方向性について考える機会として、シンポジウムの開催を予定しています。